

光市医師会報

No.465

(令和7年 春号)



写真提供：光市

光市医師会

<https://bit.ly/3P3IZm1>

目 次

光市医師会報 No. 465 (令和7年 春号)

1. 表紙	
2. 学術講演会	1
令和6年度第7回学術講演会	1
3. 山口県医師会勤務医部会市民公開講座	1
4. 理事会報告	3
5. 月例会報告	13
6. 会員の異動	13
7. 緑友会コンペ.....	14
8. これからの行事予定.....	15
9. 休日診療所	15
10. 編集後記	16

令和6年度 第7回 光市医師会学術講演会

2025年3月25日(火)

19:00～20:00

光商工会館2階 大会議室

講演Ⅰ

「誤嚥・窒息予防のための食事介助と口腔ケア」

演者 光市立大和総合病院看護部

井上 由美 先生

講演Ⅱ

「『食べる』を支える言語聴覚士の活動」

演者 光市立大和総合病院リハビリテーション部

中村 綾子 先生

令和6年度 山口県医師会勤務医部会 市民公開講座

令和7年3月9日(日)

13:00～15:00

光市市民小ホール

令和7年3月9日、約10年ぶりに山口県医師会勤務医部会が光市医師会の主催にて無事開催されました。光市市民小ホールに約70名の市民の方々も参加され熱心に講演に耳を傾けておられました。



冒頭では、県医師会を代表して芥川常任理事が挨拶に立たれ、医師会員の半数が勤務医であること、そして勤務医部会の意義について話されました。続いて、井上会長が今回のテーマである「南海トラフ地震災害への備え」の大切さについて説明されました。



災害ナースの立場からは、実際の救援時の苦労話やボランティア活動の自己完

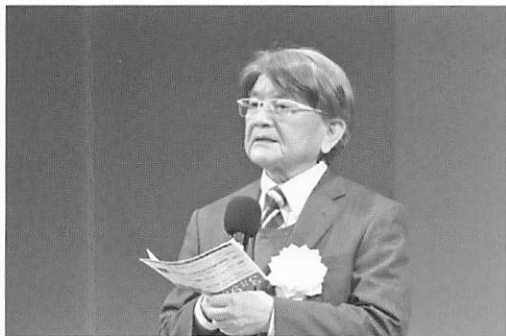
結の必要性、また被災者のメンタルケアの難しさを紹介されました。

行政の立場からは、東日本災害、熊本地震、能登半島地震の実体験から学ばれた、支援の課題について説明がありました。特に、支援物資のミスマッチが問題点となる避難所運営や、緊急時に求められる罹災証明書手続きへの人員不足の課題などが指摘されました。

医師側の立場からは、緊急医療と災害医療の心構えへの相違点に始まり、当時のトリアージの映像とともに、インフラ問題、警察・消防との連携に無線が活躍したことや、救助に正解が無いこと、尚且つ認知バイアスについてのご自身の体験を話して頂きました。

それぞれの立場を学び、実際に大災害が起こった時の災害対応への難しさから、おそらく独力では何もできないことから医師会と行政機関の協力することの重要性を考える良い機会となりました。

自助、共助、公助のなかでも、まずは「自助」の努力が重要であり、光市医師会としても、今後あらゆる事態に備え、医療体制の強化に努めていく所存です。本講演が、参加者の皆様と共に防災意識を共有し、成長するきっかけとなれば幸いです。



理事会報告

令和7年度1月光市医師会定例理事会

日時 令和7年1月14日（火）午後7時00分より

場所 小鉢

出席 井上祐介会長、広田 修副会長、谷川幸治理事、田村健司理事
北川博之理事、守友康則監事、藤田敏明監事

欠席 前田一彦理事、河内山敬二理事、秋吉宏規理事、松島 寛理事

議題

I 報告事項

1. 令和6年度都市医師会第2回光市環境審議会（11/7） （田村理事）

第3次光市環境基本計画の取り組み状況（令和5年度）について

（1）未来のために今変える ライフスタイル転換プロジェクト

- ① スマートフォンアプリ活用の検討
- ② ポイント制度創設の検討
- ③ エコスタイルガイドブックの作成
- ④ ノーマイカー運動の推進
- ⑤ 食品ロスの削減

（2）未来のために今挑む 脱炭素推進プロジェクト

- ① ネットゼロエネルギーハウスの導入促進
- ② 高断熱リフォームなどの省エネ住宅の導入促進
- ③ 環境に配慮した製品の導入促進
- ④ 市遊休地を活用した太陽光発電設備の導入の検討
- ⑤ 次世代自動車の導入促進 等

（3）未来のためにいま学ぶ 環境学び創造プロジェクト

- ① ICT 機器に対応した環境学習教材の調査・研究
- ② 自然敬愛精神を育む自然体験学習の促進
- ③ SDGs や地球温暖化の影響らを学ぶ環境学習の推進
- ④ 世代に応じた環境関連講座
- ⑤ 森林体験学習の推進
- ⑥ 光の「海」を学ぶ環境学習の検討

以上を報告した

会議終了後に防災庁舎施設見学

Ⅱ. 協議・承認事項

1. 感染流行期の休日診療所受け入れ環状数について（井上会長）

患者数が多い対策として看護師に検査実施依頼および問診票記載項目の簡素化を検討することとした。

以上を協議・承認した

Ⅲ. 新春放談

令和7年3月9日勤務医部会の市民公開講座のテーマに「南海トラフ地震、過去に学び、未来に備える」を掲げるとすることで理事会の了承を得た。

令和7年度2月光市医師会定例理事会

日時 令和7年2月4日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、前田一彦理事、田村健司理事、秋吉宏規理事
松島 寛理事、河内山敬二理事、谷川幸治理事、守友康則監事、藤田敏明監事

欠席 北川博之理事

議題：

Ⅰ. 光市令和7年度保健事業説明

Ⅱ. 報告事項

1. 令和6年度 郡市医師会地域包括ケア担当理事会議（12/12）（秋吉理事）

1 在宅医療の推進について

ニーズが特に高まる85歳以上人口は2040年頃まで増加見込み。

訪問診療患者数・在宅看取り人数は大きく増加している一方で、訪問診療・在宅看取りを実施する医療機関数は近年横ばい傾向。

各医療機関の負担軽減を図るため、新規参入の更なる促進と連携強化が必要。

需要（患者・家族のニーズ）と供給（医療資源等）のバランスを踏まえ、地域の実情に応じて、保健・医療・福祉の様々な職種の関係者が緊密に連携した取組を着実に進める。

県と各圏域の拠点（郡市医師会等）が連携して県全体の取組と地域ごとの体制構築を展開。

2 第八次やまぐち高齢者プランについて

計画のポイント

- 人口構成の変化や介護サービス需要の変化等に対応し、高齢者一人ひとりの介護ニーズに応じた介護サービスが提供されるよう、市町との連携によるサービス提供体制の整備や介護サービスの質の向上に向けた取組を推進
- 認知症の人の視点に立った施策の推進と社会参加の促進により、認知症の人や家族が希望を持って暮らせる地域づくりの推進
- 生産年齢人口が減少する中、福祉・介護ニーズに対応するため、介護現場の生産性の向上を推進

3 県医師会地域包括ケア推進事業について

- 対象事業
在宅医療の推進・地域包括ケアの構築に向け、郡市医師会として、これまでの取組を拡大する又は新たに取組む事業、行政の委託・補助事業の対象とならない（又は事業費が賄えない）事業など。
- 助成額
1 郡市医師会当たり、50万円を上限に全額助成する。
- その他
郡市医師会は事業完了後、成果物（実績報告書）の提出及び郡市担当理事会議において報告する。【参考資料1】
- アドバンス・ケア・プランニング（ACP）普及の取組について【参考資料2】

2. 郡市医師会産業保健担当理事協議会（12／19）

（田村理事）

議題

1. 県医師会主催・郡市医師会協力による産業医研修会
令和5年、6年の開催一覧について説明および令和7年度開催への研修希望テーマ募集の報告あり。
2. 日医会員情報システムMAMIS産業保健担当分野の運用について
日本医師会が独自開発するWebベースの会員情報管理システムに令和6年10月30日から取得単位確認のデータが保有されていると報告された。
3. 認定産業医更新に係る特例措置の修了について
令和9年度末をもって終了されるので、期限延長されている会員の速やかな研修受講と単位申請手続きのお願いの報告がなされた。
4. その他
過重労働報告セミナーが令和6年8月17日に開催されたことへの報告

【郡市医師会産業保健担当理事協議会】

1. 部会の役員について
医師の高齢化に伴う辞退の増加、研修会の開催協力の必要性につて報告あり。
2. 令和6年度全国医師会産業医部会連絡協議会について

日本医師会の取り組みについて、令和6年9月の山口県医師会報に神村裕子理事によるシンポジウムでの講演内容が報告された。

3. 各地域産業保健センターの現状について

山口県産業保健総合支援センター（さんぽセンター）と地さんぽの成り立ちと運営の相違についての説明がなされた。

地さんぽは、小規模事業所の事業所を対象としている。

3. 周南地域救急対策協議会（1／23）

（井上会長）

報告第1号

令和5年度病院群輪番病院の受診状況について

休日 当番日数72日 患者数905

徳山医師会84 徳山中央病院570 周南記念病院113 光総合病院79

新南陽市民病院59

来院方法 救急車328（36.2%）その他577（63.8%）

地域別内訳 関係市807（89.2%）その他県内58（6.4%）県外40（4.4%）

光市128（14.1%）

月別最多 令和6年1月131

夜間 当番日数366日 患者数5,451

徳山中央病院4,814 周南記念病院384 新南陽市民病院253

来院方法 救急車1,834（33.6%） その他3,617（66.4%）

地域別内訳 関係市4,962（91%）その他県内326（6%）県外163（3.0%）

光市612（11.2%）

月別最多 令和5年7月568

小児二次救急医療拠点病院の受診状況（徳山中央病院）

休日 当番日数73日 患者数245

来院方法 1次救急112（45.7%）その他医療機関4（1.6%）救急車34（13.9%）

その他95（38.8%）

地域別内訳 周南・柳井医療圏221（90.2%）その他県内11（4.5%）県外13（5.3%）

光市48（19.6%）

夜間 実施日数366日 患者数 1,304

来院方法 1次救急168（12.9%）その他医療機関61（4.7%）救急車255（19.6%）

その他819（62.8%）

地域別内訳 周南・柳井医療圏1,225（93.9%）その他県内40（3.1%）県外39（3.0%）

光市206（15.8%）

認定第1号

令和5年度周南地域救急協議会歳入歳出決算の認定について 承認

議案第1号

周南地域救急医療対策協議会の役員の選任について

副会長 下松市健康福祉部長 監事 光市福祉保健部長 承認

議案第2号

令和6年度周南地域救急医療対策協議会歳入歳出補正予算について

人事院勧告に基づき給与費が増額 承認

議案第3号

令和7年度周南地域救急医療対策協議会歳入歳出予算について

歳入歳出ともに854千円 承認

依頼事項等

令和7年度病院群輪番病院の当番割り当て及び日程について

休日72日 夜間365日

徳山中央病院 休日24日 夜間（毎週日月木金土） 260日

徳山医師会病院 休日17日

周南記念病院 休日15日 夜間（毎週火曜日） 53日

新南陽市民病院 休日8日 夜間（毎週水曜日） 52日

光総合病院 休日8日

令和5年度救急搬送の状況 資料で説明

その他議題

各病院でできる医療について

域内で下り搬送を円滑にするため各医療機関でできることを把握 各病院間の連絡を密に。

以上を報告した。

Ⅲ. 協議・承認事項

1. 山口県医師会勤務医部会市民公開講座の進捗状況について （井上会長）
光市民ホールにての開催確認した
2. 2月、3月の学術講演会について （谷川理事）
2月は講演会の依頼がないために中止となった

以上を協議・承認した。

令和7年度3月光市医師会定例理事会

日時 令和7年3月11日（火）午後7時00分より午後8時00分

場所 光商工会館 光市医師会 事務局

出席 井上祐介会長、廣田 修副会長、田村健司理事、秋吉宏規理事

松島 寛理事、河内山敬二理事、谷川幸治理事

守友康則監事、藤田敏明監事

欠席 前田一彦理事、北川博之理事

議題：

I. 報告事項

1. 第二回地域包括支援センター運営管理会 (1/30 井上会長)

報告第1号 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の再委託について

第1回会議以降、計4事業所が加わった

光市東部地域包括支援センター（光井・室積・大和）

18事業所 市内13、市外5

お茶の間社会福祉士事務所（平生町）

住吉高齢者生活支援センター（兵庫県神戸市）

光市基幹型（西部）地域包括支援センター（浅江・三井・島田・上島田・周防）

20事業所 市内15 市外5

ケアプランセンター笑和（市内）

居宅介護支援センター湯野温泉（周南市）

協議事項

1 令和6年度光市地域包括支援センター事業報告

2 令和5年度光市地域包括支援センター評価指標

3 地域包括支援センター運営体制について

4 令和7年度光市地域包括支援センター運営方針

認知症施策：認知症ケアパスの見直し、基幹型センターだけでなく委託センターにも認知症地域支援推進員を派遣する。

医療・介護の連携:医療・介護関係の多職種連携に関連した研修会を開催する。

「つながりシート」の周知に努める。

5 地域ケア検討会議

共通課題:支援者のいない高齢者の増加、高齢者と養護者ともに課題を抱えているケースの増加、認知症への理解、担い手不足、が挙げられる。

検討課題

① 認知症の理解:チームオレンジの新たな認定5団体を目指す、認知症ケアパス（平成28年3月作成）を現状に合わせ改定する。行政職員等や新たに見守りネット協力事業者を対象とした認知症サポーター養成講座を開催する。

② 支援者のいない高齢者増加:成年後見制度利用促進について持続可能モデルの

検討を開始する。生活支援体制整備事業の活用、介護支援専門員を対象に研修会で事例検討を行う。

2. 光市三師会役員会議

(2/4 井上会長、廣田副会長)

1. 令和5・6年度事業報告

令和5年5月 名簿作成

令和6年2月14日(水) 令和5年度役員会

令和6年11月7日(木) 防災研修会 光商工会議所 令和6年度役員会

令和7年2月4日(火) 通常総会・懇親会 令和7年3月13日(木) 松原屋

2. 令和5・6年度会計報告

3. 通常総会・懇親会について 2月28日までに出席者数、出席者名簿、委任状を提出

4. 役員改選について 令和7年4月から令和9年3月 光市医師会担当

3. 周南地域休日・夜間こども急病センター運営協議会

(2/6 井上会長)

1. 運営状況報告

1) 年末年始の患者数

令和5年度にコロナが5類になって以降、患者数が増えてきている状況である。令和4年256人、令和5年457人、令和6年830人

2) 夜間及び休日の患者数の推移(1日平均)

夜間ではコロナ禍前1日平均10人だったが令和2年度に3人と激減した。その後増加し令和6年度では7人とコロナ禍前に近づいてきている。昼間はコロナ禍前平均48人、コロナ禍で減少し令和6年度には34人まで回復している。

3) 夜間及び休日の患者数の推移(実数)

平成21年の開設当時は夜間6699人、休日5337人だった。令和2年度にはコロナ禍で夜間1076人、休日832人まで激減した。その後は増加傾向で令和6年は令和5年の夜間3107人、休日2796人と同程度になる見込みである。

4) 三市の患者割合の推移(昼間・夜間)

令和6年度は周南市(50.0%/49.2%)、下松市(25.7%/25.8%)、光市(11.8%/12.1%)、その他県内(7.4%/9.1%)でコロナ禍前と大きな変化はない。

5) 二次救急への転送件数の推移(昼間・夜間)

令和6年度は夜間平均0.6件、昼間2.2件で例年同様

6) 徳山中央病院小児科外来患者数の推移

令和6年度は39人でコロナの影響は受けていない。

7) 徳山中央病院小児科入院患者数の推移

令和元年以降少しずつ増加し、令和6年度は1日平均32人だった。4-6月が多くRSウイルス患者の増加が影響している。

2. その他

会長・副会長の任期満了に伴う選出について:会長は徳山中央病院院長、副会長は徳山

医師会病院会長、周南市健康医療部長が再任された。

4. 光市国民健康保険運営協議会

(2/6 河内山理事)

1 議題1 令和7年度光市国民健康保険事業運営方針（案）について

(1) 執務体制の確立

(2) 被保険者の資格管理及び医療費の適正化

ア 資格の適用適正化

イ マイナンバーカードの健康保険証利用

令和6年12月2日以降マイナ保険証での受診を基本とする仕組みに移行したが、引き続き全ての被保険者が安心して確実に保険診療を受けられるよう適切に対応する。

ウ レセプト点検

エ 第三者行為求償事務

(3) 国民健康保険税の賦課

令和7年度は令和2年度に引き下げた税率を維持し、光市独自の多子世帯負担軽減対策を引き続き実施する。

(4) 国民健康保険税の確保

ア 収納率向上対策

収納率全体では84.43%と前年度に比べ3.07ポイント改善している。

収納率向上のため、文書、電話、臨戸訪問に加えSMS（ショートメッセージサービス）を利用した催促の実施を行う。

イ 特別療養費の支給に係る事前通知

(5) 広報活動の推進

(6) 保険事業の推進

光市国民健康保険第3期データヘルス計画兼第4期特定健康診査実施計画に基づき行う。

ア 特定健康診査・特定保健指導事業

令和5年度の特定健康診査の受診率は、人工知能（AI）を活用した未受診者勧奨や受診者へのインセンティブ付与等により前年度から1.4ポイント改善し、35.7%となった。また、令和5年度の特定保健指導の実施率は、前年度0.9ポイント低下し24.5%となった。現状、国の目標値（特定健康診査60%、特定保健指導60%）には達していないため引き続き、受診率・実施率の向上に向けた取り組みを着実に実施する。

イ ヘルスチェック事業

ウ 頻回受診・重複受診指導

エ 柔道整復適正受診指導

オ 医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知事業

医療費の総額を通知することにより、健康意識の高揚を図る。ジェネリック医

薬品に切り替えた場合の自己負担額の軽減額を年2回通知することにより、利用の促進を図る。

カ 高血圧症重症化予防事業

特定健康診査の結果、一定の基準に該当する被保険者（特定保健指導の対象者を除く）に対し、医療機関への受診勧奨を実施する。

キ 糖尿病性腎症重症化予防事業

「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、糖尿性腎症で通院している患者のうち、重症化するリスクの高い被保険者に対して、保健指導を実施することにより人工透析への移行を防止する。

(7) 保険税（料）水準統一への対応

山口県は令和12年度から、市町が県に納める事業費納付金に医療費水準を反映させない「納付金ベースの統一」を行うことを示し、令和8年度から段階的に着手することとしている。県内において同じ所得水準・世帯構成であれば同じ保険税とする完全統一を実施するため山口県や他市町との協議を進める。

2 議題2

令和6年度光市国民健康保険特別会計決算見込みについて
全会一致で承認された。

3 議題3

令和7年度光市国民健康保険特別会計予算（案）について
全会一致で承認された。

4 その他の事項

5. 郡市医師会生涯教育担当理事協議会

(3/6 谷川理事)

1. 都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会報告

2023年度の日医生涯教育制度の単位取得者率のデータでは山口県（55.6%）は全国平均（52.8%）をやや上回っている。今回は県内の各医師会のデータはなし。

2025年度から生涯教育制度の単位などの管理は、医師会会員情報システムMAMISにその機能を移行する。

2. 令和7年度山口県医師会生涯研修セミナーなどの予定（資料2-1）

3. 山口県医学会総会

山口市医師会主催で令和7年6月8日（日）山口県総合保健会館にて開催。（資料2-2）

午後の市民公開講座では、「哲学で考える生老病死」の講演がある。

来年度は、山陽小野田医師会が担当（日程や場所は未定）。予定では光市医師会は令和10年。

4. 中高生を対象とした医師の職業体験事業

2024年8月4日に山口県総合保健会館にて開催され、中学1年~高校3年の計48名が医師の職業体験を行った。

2025年も8月頃に開催予定。

5. 山口大学医師会・山口大学医学部主催医師生涯教育講座

山口大学が研修会を行っている。

令和6年度は、3月23日（日）に山口大学医学部にて、小児科学講座のスタッフによる「子どもの命を守る！ワクチンと感染症の最新ガイド&実践!救命処置」が開催される。申込締切は3月14日（金）。まだ定員まで余裕があるので、希望者は申し込んでください。

令和7年度は未定

6. 山口県医師会医学研究助成金

令和5年度から、山口県医師会医学研究助成金の制度が開始となっている。

（資料2-9）

以上を報告した。

Ⅱ. 協議・承認事項

1. 定時総会の日程について（井上会長）
令和7年5月22日19時から開催予定
2. 令和7年度の予算（案）について（廣田副会長）
例年通り
3. 令和7年度事業計画について（井上会長）
4. 症例検討会について（井上会長）
中止になったことより、継続開催の為のアイデア募集
5. 休日診療所の備品について（井上会長）
廉価版抗原抗体反応キットの試供品使用について

以上を協議・承認した

月例会報告

令和7年3月25日（火）

1. 症例検討会について
2. 市民公開講座の報告

退会会員

3月31日付

B 会員	三好 礼乃 先生（光市立光総合病院）
B 会員	安光 正治 先生（光市立大和総合病院）

緑友会ゴルフコンペ成績

令和7年3月2日
周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	兼清 光帆子	61	58	119	36	83
準優勝	佃 浩一郎	49	49	98	14	84
3	宮本 寿太郎	45	48	93	8	85
4	森本 博士	46	44	90	4	86
5	兼清 照久	54	49	103	11	92
6	前田 昇一	58	56	114	14	100
7	吉川 真	71	64	135	16	119

NP ②⑥宮本

DC ⑮兼清（照）

ドラ短 前田 兼清（照）

☆ これからの行事予定 ☆

4月 8日(火) 理事会
22日(火) 月例会

5月 13日(火) 理事会
22日(木) 定時総会
27日(火) 月例会

6月 10日(火) 理事会
24日(火) 月例会

1月休日診療所当番医報告

		内科系	外科系	
1月	1(水)	56	17	73
	2(木)	64	26	90
	3(金)	64	2	66
	5(日)	64	9	73
	12(日)	41	10	51
	13(月)	42	4	46
	19(日)	22	13	35
	26(日)	21	3	24
	計	374	84	458

3月休日診療所当番医報告

		内科系	外科系	
3月	2(日)	5	2	7
	9(日)	20	2	22
	16(日)	14	5	19
	20(木)	8	4	12
	23(日)	9	1	10
	30(日)	6	4	10
	計	62	18	80

2月休日診療所当番医報告

		内科系	外科系	
2月	2(日)	22	2	24
	9(日)	15	2	17
	11(火)	8	14	22
	16(日)	13	5	18
	23(日)	15	9	24
	24(月)	20	10	30
	計	93	42	135

● あとがき ●

例年、梅は冬の終わりを、桜は春の始まりを告げる花という印象があるかと思います。
今年は異常気象な冬の影響か、梅と桜が同時に開花し、例年以上に華やかな春を感じることができました。季節の移ろいを楽しみながらも、すでに夏日が続き、熱中症のニュースも耳にします。これからも暫くは、天気予報に注意を払って過ごしたいものです。

(K.T)

発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 令和7年5月23日
発行者 井上 祐介
編集者 広報担当
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社